

踏切は、道路と鉄道インフラとの交差部分です。「UNECE 1968道路交通条約と高速道路法」によると、踏切では列車が優先され道路の利用者と歩行者は安全に横断するために道路標識と信号に従わなければならない、利用者の誤認、不適切な行動による衝突や、乗客、乗務員、その他の利用者を危険にさせることを防ぐ必要があります。踏切を利用することは、利用者が適切に横断する限り安全です。それにもかかわらず、リスクは依然として存在し、列車と様々な自動車の衝突は悲惨なものになる可能性があります。

世界的に、自動車と鉄道を用いた貨物と旅客輸送は、ここ数十年で著しく増加しており、それによって踏切でのリスクも高まっています。これが、2つの世界的な道路および鉄道協会であるIRU（国際道路交通連合）とUIC（国際鉄道連合）、およびOperation Lifesaver Estoniaが踏切の安全性について認識を高めるために協力した理由です。この安全ガイダンスは、商用車の運転手が踏切を横断する際に起こりうるすべての状況を必ずしも網羅しているわけではありませんが、列車との衝突につながるリスクを回避する方法を運転手に認識させるのに有効です。

www.iru.org
www.uic.org
www.ole.ee/en



INTERNATIONAL UNION
OF RAILWAYS

